

とせき 戸関遺跡（その3）

戸関遺跡では平安時代の柵や建物の柱穴などが多数みつかっていますが、その下層を発掘した結果（写真1）、古墳時代前期（約1700年前）の遺物が多く出土しました。

土器が最も多く出土しており、壺・甕・高杯・鉢・器台など様々な形のものがああります（写真2）。このほかには鉄器とこれを研ぐために使われたと考えられる軽石もみつかっています。当時の人々が鉄の道具を使っていたことがわかります（写真3）。



写真1 発掘調査の様子



写真2 古墳時代前期の土器（左から器台・二重口縁壺・甕）



写真3 出土した壺（左）と鉄器（右）

問い合わせ先

〒515-0325

三重県多気郡明和町竹川 503

三重県埋蔵文化財センター

担当：櫻井・土橋・樋口

電話：0596-52-7028

FAX：0596-52-7035